

編集後記

学術誌の編集は、結構何度も携わってきた。その都度、色々と苦労はあるのだが、今回は比較的安心して進められた。その理由は、投稿数がそれなりに多かったこと（それでも統合前の3誌の投稿数よりは少ない）が一つ、もう一つは査読が順調だった（査読者の先生方、ありがとうございました）ことである。今回は、査読落ちで掲載が見送られた論文は1本しかなかった。査読基準のレベルは色々あるが、学術団体の学会誌等では、投稿論文の半分近くが査読落ち等の場合もあり、多くの場合は、研究ノートに切り替えて掲載を認めるシステムなどはない場合が多く、掲載論文が3～4編しかないという場合もあった。それに比べると今回は、全部で17本小論が載っていて、素晴らしいと思う。

また、巻頭論文は、今回は中部学院大学で目覚ましい研究成果を上げている宮嶋淳先生から『「助」格差社会における日本型ソーシャルワーカーの養成改革－新たな地域開発理論：地域生命学的アプローチの提示－』として、いくつかの新たな知見を含む意欲的な論文を頂いた。素晴らしい論文を感謝である。

今後は、専門学校の教員でも、創造的営為である研究活動を行っていない教員は、正に創造的な授業であるアクティブラーニングなどを適切に行えないであろう。単に教科書を解説するような授業は、今後数年内にICTの発展の中でオンライン（デマンド）教育に置き換えられていく中で、必要なくなるであろう（担当教員も）。とすれば、今、研究を行って（発表して）いるかどうかは、今後の教員として将来を左右する大問題になっていくだろう。

『敬心・研究ジャーナル』は、査読論文だけではなく、広く扱って行く方針である。そういう意味で皆さんの研究の指標を記録していく雑誌として大いに活用いただければ幸いである。

（編集長 川延 宗之）

“論文を投稿するのは恥ずかしい”私はそう思います。アウトプットという行為は、論拠や理論展開、使う言葉、全てにおいて自身をさらけ出すことだと思うからです。

しかしながら、調べたり、実践したりした結果得られた知見、気づきを発表する意義は、その難しさ、恥ずかしさ、面倒くささを必ずや乗り越えるはずです。私はアウトプットこそ、最も学びが得られる方法だと考えています。

『敬心・研究ジャーナル』が、「研究」というとハードルが高く感じる教職員の方々にとって、日々の「授業」「業務」を通して疑問に思ったことや改善したいと感じたことを追究し、発表しあう場となることを願い、これからも編集してまいります。

（事務局 杵淵 洋美）

一 「敬心・研究ジャーナル」学校法人敬心学園 編集委員会 一

| | | |
|------|-------------|---------------------------|
| 委員長 | 川延 宗之 | （職業教育研究開発センター、大妻女子大学名誉教授） |
| 特別委員 | 鈴木 晟幹 | （臨床福祉専門学校） |
| 委員 | 行成裕一郎、金井 直子 | （日本福祉教育専門学校） |
| | 黒木 光、井口 佳晴 | （日本リハビリテーション専門学校） |
| | 町田 志樹、浜田 智哉 | （臨床福祉専門学校） |
| | 木下 美聡、天野 陽介 | （日本医学柔整鍼灸専門学校） |
| | 安部高太郎、水引 貴子 | （日本児童教育専門学校） |
| 事務局 | 杵淵 洋美 | （職業教育研究開発センター） |

〈執筆者連絡先一覧〉

- ・「助」格差社会における日本型ソーシャルワーカーの養成改革
— 新たな地域開発理論：地域生命学的アプローチの提示 —
中部学院大学人間福祉学部 宮嶋 淳
〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘2-1
E-mail : miyaji@chubu-gu.ac.jp
- ・慢性閉塞性肺疾患患者の酸素運搬手段の違いが運動耐容
能に及ぼす影響について
セコメディック病院 リハビリテーション部 根岸 裕
〒274-0053 千葉県船橋市豊富町696-1
E-mail : yutapon.mail@gmail.com
- ・両側延髄内側梗塞に対するリハビリテーションの経験
国立国際医療研究センター国府台病院 リハビリテ
ーション科 吾妻 導人
〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
E-mail : pt-azuma@hospk.ncgm.go.jp
- ・脳神経外科病棟における転倒転落予防に向けた多職種連
携の効果
セコメディック病院 リハビリテーション部 榎本 陽介
〒274-0053 千葉県船橋市豊富町696-1
E-mail : uminoyouna_hiroikokorode@yahoo.co.jp
- ・介護老人保健施設での包括的褥瘡ケアシステム導入が経
済面へ及ぼす影響
— 褥瘡ケアにかかるコスト —
大阪人間科学大学人間科学部理学療法学科 奥 壽郎
〒566-8501 大阪府摂津市正雀1-4-1
E-mail : t-oku@kun.ohs.ac.jp
- ・人工骨頭置換術を施行した患者における運動及び呼吸機
能と血液・生化学所見の関係性
東京医療学院大学保健医療学部リハビリテーション学科
理学療法専攻 内田 学
〒206-0033 東京都多摩市落合4-11
E-mail : m-uchida@u-ths.ac.jp
- ・要支援高齢者における呼吸筋力・呼吸機能と運動能力の
関係
東京医療学院大学保健医療学部リハビリテーション学科
理学療法専攻 山口 育子
〒206-0033 東京都多摩市落合4-11
E-mail : i-yamaguchi @ u-ths.ac.jp
- ・絵本について論ずるときに我々の論ずること — 村上春樹
「ふわふわ」論のために —
学校法人敬心学園 日本児童教育専門学校 原 善
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-15
E-mail : harazen@hotmail.co.jp
- ・季節のご挨拶 (2016)
ジリアン・ヨーク
37 Edwin Road, RD4, Paeroa 3674, New Zealand
E-mail : jisabelle29yorke@gmail.com
- ・ドイツ首相アンゲラ・メルケルの思想と行動 — 日本にお
ける理解の仕方 —
田園調布学園大学人間福祉学部 金井 守
〒237-0072 神奈川県横須賀市長浦町1-23
E-mail : kanai@dcu.ac.jp
- ・失語症者の構文ネットワーク構造の検討 — 格助詞「ガ」
を中心に —
熊本保健科学大学言語聴覚学専攻 宮本 恵美
〒861-5598 熊本県熊本市北区和泉町325番地
E-mail : meg-miya@kumamoto-hsu.ac.jp
- ・イスラームに学ぶ多文化共生
学校法人敬心学園 日本福祉教育専門学校 ソーシャ
ル・ケア学科 松永 繁
〒171-0033 東京都豊島区高田3-6-15
E-mail : matsunaga@nipku.ac.jp
- ・幼稚園教育実習に関する一考察 — 実習生の成長を促進す
る指導の在り方に着目して —
学校法人敬心学園 日本児童教育専門学校 中西 和子
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-15
E-mail : knakanishi@jje.ac.jp
- ・保育の質の探求①「一本のきゅうりから」 — 2歳児の保育
を通して考える保育の総合性 —
学校法人敬心学園 日本児童教育専門学校 今泉 良一
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-15
E-mail : rimaizumi@jje.ac.jp
- ・保育内容総論における「保育の質」に関する言説の性格 —
テキストマイニングによる分析 —
学校法人敬心学園 日本児童教育専門学校 安部 高太郎
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-15
E-mail : kabe@jje.ac.jp
- ・「友達」をめぐる保育内容（人間関係）と生活科、道徳、特
別活動のカリキュラムの接続とその課題 — 2017年改訂学
習指導要領・幼稚園教育要領の検討を中心に —
学校法人敬心学園 日本児童教育専門学校 水引 貴子
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-32-15
E-mail : tmizuhiki@jje.ac.jp